

「学修・評価項目」の主な変更点とその理由

頁	項目		変更前	変更後	理由
18	C. 身体診察 C-1. 全身状態とバイタルサイン	(9) バイタルサイン 2) 呼吸	☐ パルスオキシメータを装着し、経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO ₂) を測定する。	3) 経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO ₂) ☐ 爪を観察し、パルスオキシメータを奥まで挿入する。 ☐ 測定値が安定するまで十分な時間をかけてSpO ₂ を測定する。	・新規課題として運用することになったため、項目を別建てにした。 ・評価表に合わせて具体的な記載にした。
26	C. 身体診察 C-3. 胸部	(9) 肺（前胸部） 2) 打診	☐ 左（右）手を広げ、その中指の中節骨部またはDIP関節部を、曲げた右（左）中指で手首のスナップを効かせて弾むように原則として2回ずつ叩き、打診する。	☐ 左（右）手を広げ、その中指の中節骨部またはDIP関節部を、曲げた右（左）中指で2回以上叩き、打診する。 ☐ 手首のスナップを効かせて弾むように打診する。	・評価表の項目と合わせて2つに分けた。 ・表現が明瞭になるよう「原則として」の文言をなくし「2回以上」とした。
28	C. 身体診察 C-4. 腹部	(3) 診察の順序と事前の注意事項	(注)・・・可能な限り心窩部から恥丘、鼠径部までの範囲を診察できるようバスタオルなどを用いて、羞恥心に配慮する。	(注)・・・視診を行いながら、可能な限り心窩部から恥丘、鼠径部までを露出し、バスタオルなどを用いて、羞恥心に配慮する。	腹部全体を視診することを徹底するとともに、模擬患者さんへの羞恥心に配慮するため。
28	C. 身体診察 C-4. 腹部	(5) 聴診 3) 腹部の血管音の聴取	膜型聴診器を押し当てて大動脈音を直上で聴取する。	膜型聴診器を押し当てて大動脈音を直上（上腹部正中付近）で聴取する。	大動脈音聴取部位を明確にするため。
28	C. 身体診察 C-4. 腹部	(5) 聴診 4) * 振水音を聴診する。	☐ イレウスが疑われる場合には、	☐ 腸閉塞やイレウスが疑われる場合には、	腸閉塞とイレウスが異なる病態として定義されているため。
31	C. 身体診察 C-4. 腹部	(9)病態に応じた精密診察法 3) * 腹膜刺激徴候の評価	参考資料：「マクギーの身体診断学－エビデンスにもとづくグローバル・スタンダード原著第2版」 （診断と治療社、2009年）より引用 表	表を含めて全削除	既に第5版が出版されており、表内のデータも改訂されているため。また、表そのものが不要と判断。
43	C. 身体診察 C-5. 神経	【表1】	20 普通の呼びかけで容易に開眼する	20 大きな声または体を揺さぶることにより開眼する	・誤記を修正した。
65	D. 基本的臨床手技 D-1. 一般手技	(2) 医療安全	☐ 以前に採血などで気分が悪くなった事がないかなど迷走神経反射の既往を尋ねる。	☐ 以前に採血などで気分が悪くなった事がないかなど血管迷走神経反応の既往を尋ねる。	・術語を正確なものに変更した。
66	D. 基本的臨床手技 D-1. 一般手技	(3) 静脈採血 1) 採血前の確認	☐ 以前に採血などで気分が悪くなった事がないかなど迷走神経反射の既往を尋ねる。	☐ 以前に採血などで気分が悪くなった事がないかなど血管迷走神経反応の既往を尋ねる。	・術語を正確なものに変更した。
66	D. 基本的臨床手技 D-1. 一般手技	(3) 静脈採血 2) 採血手技（翼状針を用いた真空管採血の場合）	☐ 手袋を左右の手に着用する。	☐ 手袋を左右の手に装着する。	・用語を統一した。
67	D. 基本的臨床手技 D-1. 一般手技	(3) 静脈採血 3) 採血手技（シリンジを用いた採血の場合）	☐ 手袋を左右の手に着用する。	☐ 手袋を左右の手に装着する。	・用語を統一した。
67	D. 基本的臨床手技 D-1. 一般手技	(3) 静脈採血		(追加記載) 4) * 血液を採取できなかった場合	・採血に失敗したときの対処法の記載がなかったため追加した。
68	D. 基本的臨床手技 D-1. 一般手技	(5) 持続的導尿（男性）	☐ 導尿カテーテル留置の施行者は、滅菌手袋を着用する。	☐ 導尿カテーテル留置の施行者は、滅菌手袋を装着する。	・用語を統一した。

頁	項目	変更前	変更後	理由
70	D. 基本的臨床手技 D-2. 外科手技	(5) 縫合 1) 準備（以下の項目は必要に応じて行う） ☐ 手術用帽子を頭髮が露出しないように着用する。 ☐ 手術用マスクを口・鼻・顎を完全に覆うように着用する。	☐ 手術用帽子を頭髮が露出しないように装着する。 ☐ 手術用マスクを口・鼻・顎を完全に覆うように装着する。	・用語を統一した。
73	D. 基本的臨床手技 D-3. 検査手技	(3) 12誘導心電図の記録 2) 心電図の記録	☐ 次に胸部誘導を装着するために、胸骨角を触診し、第2肋間を確認する。	・表現を明確化した。
73	D. 基本的臨床手技 D-3. 検査手技	(3) 12誘導心電図の記録 2) 心電図の記録	(追加記載) ☐ 触診で第3肋間、第4肋間の位置を確認する。	・手技を明確化した。
73	D. 基本的臨床手技 D-3. 検査手技	(3) 12誘導心電図の記録 2) 心電図の記録	(注) 隣り合う電極が接触しないように注意する。 削除	・表現が重複していたため削除した。
73	D. 基本的臨床手技 D-3. 検査手技	(3) 12誘導心電図の記録 2) 心電図の記録	(注) 隣接する部位のペーストが接合しないよう注意する。	・表現を明確化した。
75	E. 感染対策	(1) 手指消毒・衛生的手洗い 1) 擦式アルコール手指消毒薬など（以下、消毒薬）による手指消毒	1) 擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒	・文言を追加した。
75	E. 感染対策	(1) 手指消毒・衛生的手洗い 1) 擦式アルコール手指消毒薬など（以下、消毒薬）による手指消毒	(20～30秒程度を費やして十分に擦り込む)	・文言を変更した。
75	E. 感染対策	(1) 手指消毒・衛生的手洗い 1) 擦式アルコール手指消毒薬など（以下、消毒薬）による手指消毒	☐ 袖が邪魔にならないように前腕を十分に露出する。 ☐ 袖が邪魔にならないようにする。(例)袖をまくり両前腕を十分に露出するなど。	・文言を追加した。
75	E. 感染対策	(1) 手指消毒・衛生的手洗い 2) 流水による衛生的手洗い	(1分間程度を費やして十分に洗う)	・文言を変更した。
75	E. 感染対策	(1) 手指消毒・衛生的手洗い 2) 流水による衛生的手洗い	☐ 手掌と手背と指間を丁寧に洗う。 ☐ 左右の墓誌を対側の手指で握り丁寧に洗う。 ☐ 手掌で指先・爪部を丁寧に洗う。 ☐ 以下の6か所を意識して両手をよく洗う。 1.指先・爪部、2.手掌、3.手背、4.指間、5.母指周囲、6.手関節周囲 ☐ 母指と手関節部は対側の手で握り、ねじるように洗う。	・文言を追加した。
75	E. 感染対策	(1) 手指消毒・衛生的手洗い 2) 流水による衛生的手洗い	☐ 手関節の周囲まで洗い、洗い残しがないことを確認する。 ☐ 洗う範囲は手関節の周囲までとする。	・文言を変更した。

頁	項目	変更前	変更後	理由
75	E. 感染対策	(1) 手指消毒・衛生的手洗い 2) 流水による衛生的手洗い	☐ 石鹸による手洗いは、40秒以上を目安に洗う。	・削除した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 1) PPE装着前の準備	☐ 袖が邪魔にならないようにする。(例)袖をまくり両前腕を十分に露出するなど。	・文言を追加した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 2) PPEの装着	☐ 擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒または衛生的手洗いを行う。	・一部文言を削除した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 2) PPEの装着	☐ ガウン・エプロンを、患者に接する部分は触れないように身体の前方で広げる。	・文言を追加した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 2) PPEの装着	☐ ガウン・エプロンを広げ、首の部分を持ってかぶる。	・文言を変更した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 2) PPEの装着	☐ 体幹部を覆う。	・文言を変更した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 2) PPEの装着	☐ 腰ひもを後ろで結ぶ。	・文言を変更した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 2) PPEの装着	☐ 体幹部が覆われていること・背部のひもが結ばれていることを鏡で確認する。	・文言を変更した。
75	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 2) PPEの装着	☐ マスクと帽子を着用する。 《参照》E. 感染対策(3)清潔そう足1)準備、帽子・マスクの着用	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ 使用後のPPEの表面は汚染されているものとして、表面に触れないよう注意する。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ 手袋の手首に近い外（そと）側をつまむ。 ☐ 手袋の外（そと）側をつまんで片側の手袋を中表にして外す。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ 手袋を着用している手で外した手袋を持っておく。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ 手袋を外した手の指先を、もう一方の手首と手袋の間に滑り込ませ、そのまま引き上げるようにして脱ぐ。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ 2枚の手袋をひとかたまりとなった状態で感染性廃棄物として廃棄する。	・文言を変更した。

頁	項目	変更前	変更後	理由
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄		☐ 手袋を廃棄した後に消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ 後ろの腰ひもを切る。	☐ 腰ひもを外す。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ ガウン・エプロンの患者に接する部分に触れないようにそと側を中にして折り込み、小さくまとめる。 ☐ 使用後のガウン・エプロンは、感染性廃棄部として廃棄する。	☐ ガウン・エプロンの患者に接する部分に触れないように、そと側を中にして折り込み、感染性廃棄物用ゴミ箱に入るようにまとめて、適切に廃棄する。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄		☐ 廃棄する際、感染性廃棄物用ゴミ箱内に直接、手を入れない。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄		☐ ガウンを廃棄した後に消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ 帽子を廃棄する。	☐ 帽子を適切に廃棄し、消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ アイプロテクション（ゴーグルなど）を外す際はツルまたはヘッドバンドの部分を左右の手で掴んで外す。	☐ アイプロテクションを外す際は、ツルまたはヘッドバンドの部分を左右の指でつまんで外す。外した後は消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄		☐ 帽子を適切に廃棄し、消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ マスクを廃棄する。	☐ マスクを適切に廃棄し、消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄	☐ 擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒または衛生的手洗いを行う（必要に応じて、脱衣の途中にも行う）。	☐ 上記の各ステップにおいて手指の汚染の可能性がある場合は、消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策 (2) PPEの着脱と廃棄 3) PPEの脱衣と廃棄		☐ PPEを廃棄する際は、感染性廃棄物のゴミ箱からはみ出さないよう、適切に廃棄する。（注）感染性廃棄物がゴミ箱からはみ出した場合は、手袋を装着して専用のゴミばさみを用いてゴミ箱内に廃棄する（スタッフに依頼してもよい）。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策 (3) 清潔操作 1) 準備、帽子・マスクの装着		☐ 必要に応じて袖が邪魔にならないように前腕を十分に露出する。	・文言を追加した。
76	E. 感染対策 (3) 清潔操作 1) 準備、帽子・マスクの装着	☐ サージカルマスクを口・鼻・顎を完全に追うように着用する。 ☐ サージカルマスクのノーズワイヤ部分が鼻筋に密着するように軽く押す。	☐ サージカルマスクのノーズワイヤを顔の形に押し当て、隙間なくフィットさせる。	・文言を変更した。

頁	項目		変更前	変更後	理由
76	E. 感染対策	(3) 清潔操作 1) 準備、帽子・マスクの装着	☐ 頭髮、鼻・口・顎が完全に覆われていることを鏡で確認する。	☐ 頭髮、鼻・口・顎が確実に覆われていることを鏡で確認する。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(3) 清潔操作 2) 手指消毒・衛生的手洗い	☐ 必ず擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒を行う。	☐ 消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
76	E. 感染対策	(3) 清潔操作 2) 手指消毒・衛生的手洗い	《参照》E. 感染対策(1)手指消毒1)擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒	《参照》E. 感染対策(1)手指消毒1)擦式アルコール手指消毒薬など（以下、消毒薬）による手指消毒	・文言を追加した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 4) 滅菌手袋の装着	手袋の装着	滅菌手袋の装着	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 4) 滅菌手袋の装着	☐ 左手の4本の指を右側手袋の折り返しの部分に（表面に当たる部分）に入れて取り上げる。	☐ 滅菌手袋を装着した左の手指を右側手袋の折り返しの部分（表面に当たる部分）に入れて取り上げる。	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 5) 手術・処置の皮膚消毒	* 処置範囲の消毒など	手術・処置の皮膚消毒	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 5) 手術・処置の皮膚消毒		☐ 消毒範囲の皮膚の観察（発赤・腫脹・滲出液など）を行う。	・文言を追加した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 5) 手術・処置の皮膚消毒		☐ 消毒薬に対する過敏性を尋ねる。	・文言を追加した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 5) 手術・処置の皮膚消毒		☐ 手術・処置等を行う部位に対して消毒する範囲を決める。	・文言を追加した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 5) 手術・処置の皮膚消毒	☐ 滅菌したピンセットまたは鉗子により皮膚消毒薬（7.5%ポビドンヨードなど）を十分に含んだ綿球などを容器から取り出す。	☐ 皮膚消毒薬を十分に含んだ綿球などを容器から適切に取り出す。	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 5) 手術・処置の皮膚消毒	☐ 処置を行う部位の中心より外（そと）側へ向かい同心円を描きながら広範に消毒薬を皮膚に塗り込む。	☐ 消毒する範囲の皮膚に塗り残しがないように消毒薬を塗る。	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 5) 手術・処置の皮膚消毒	☐ 消毒薬の乾燥後、滅菌シートで処置を行う部位の周囲を被う。	☐ 消毒薬の乾燥後、滅菌シート・皮膚ドレッシング材などで皮膚を被う。	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 6) 手術・処置後の物品廃棄	処置後	手術・処置後の物品廃棄	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 6) 手術・処置後の物品廃棄	☐ 使用した鋭利なものは、シャープス・コンテナへ安全に廃棄する。使用した手袋・ガウン・縫合糸など、血液・体液で汚染されたゴミは、感染性廃棄物として廃棄する。手袋の包装紙など、血液・体液による汚染のないゴミは、非感染性廃棄物として、分別して廃棄する	☐ 使用した鋭利なものは、シャープス・コンテナへ安全に廃棄する。使用した手袋・ガウン・縫合糸など、血液・体液で汚染されたゴミは、感染性廃棄物として廃棄する。 ☐ 手袋の包装紙など、血液・体液による汚染のないゴミは、非感染性廃棄物として、分別して廃棄する。手袋をしたまま触れた包装紙などは感染性廃棄物として廃棄する。	・文言を変更した。
77	E. 感染対策	(3) 清潔操作 6) 手術・処置後の物品廃棄	☐ 手袋を外した後に手指消毒を行う。	☐ 手袋を外して廃棄した後に、手指消毒を行う。	・文言を変更した。

頁	項目		変更前	変更後	理由
77	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 2) 手術時手洗い（手もみ洗 いの場合を主に記載した）	☐ 手洗い用消毒液（7.5%ポビドンヨード，4クロルヘ キシジンなど）により指間、指先に注意を払いながら手 指から肘まで手もみ洗いする。	☐ 手洗い用消毒液により指間、指先に注意を払いなが ら手指から肘まで手もみ洗いする。 （注）手洗い石鹸で手洗いを行うこともある。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 3) 滅菌ガウンの装着（施設 により手順が異なることが ある）	☐ 介助者に右肩ひもを持ってもらい、左手で左肩ひも を持ってガウンを広げながら、介助者に触れないように 注意して袖口へ向かって右手を挿入する。。	☐ 介助者に右肩ひもを持ってもらい、介助者に触れな いように注意して袖口へ向かって右手を通す。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 3) 滅菌ガウンの装着（施設 により手順が異なることが ある）	☐ 介助者に左肩ひもを持ってもらい、介助者に触れな いように注意しながら袖口へ向かって右手を挿入する。	☐ 介助者に左肩ひもを持ってもらい、介助者に触れな いように注意しながら袖口へ向かって左手を通す。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 3) 滅菌ガウンの装着（施設 により手順が異なることが ある）	☐ 介助者が後で肩と腰のひもを結んでいる間に正面の ひもの結び目をほどく。	☐ 介助者に後ろでガウンの肩と腰のひもを結んでもら い、正面のひものタグを外す。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 3) 滅菌ガウンの装着（施設 により手順が異なることが ある）	☐ 左手が背部に触れないように注意してひもを左から 右に回し、それを右手で受ける。	☐ 正面のひものタグを介助者に渡し、身体を回転さ せ、ひもを清潔に取る。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 3) 滅菌ガウンの装着（施設 により手順が異なることが ある）	☐ 身体前面でひもを結びガウンで全員を覆う。	☐ 身体の前（または側面）でひもを結ぶ。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 3) 滅菌ガウンの装着（施設 により手順が異なることが ある）	☐ 滅菌ガウン装着後の清潔状態を保つ。	☐ 滅菌手袋・ガウンの装着中・装着後は、清潔状態を 保つ。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 4) *手術準備	☐ 滅菌したピンセットまたは鉗子により皮膚消毒薬 （7.5%ポビドンヨードなど）を十分に含んだ綿球など を容器から取り出す。	☐ 滅菌したピンセットまたは鉗子により皮膚消毒薬を 十分に含んだ綿球などを容器から取り出す。	・文言を変更した。

頁	項目		変更前	変更後	理由
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 5) 手術後の物品廃棄	手術後	手術後の物品廃棄	・文言を追加した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 5) 手術後の物品廃棄	☐ 使用した鋭利なものは、シャープス・コンテナへ安全に廃棄する。使用した手袋・ガウンなど、血液・体液で汚染されたゴミは、感染性廃棄物として廃棄する。	☐ 手袋・ガウン等の表面は汚染されているため、脱衣・廃棄の際は表面に触れないよう注意する。	・文言を変更した。
78	E. 感染対策	(4) 手術時手洗い・ガウン テクニック 5) 手術後の物品廃棄	☐ 手袋をはずした後に手指消毒を行う。	☐ 手袋をはずした後に消毒薬による手指消毒を行う。	・文言を変更した。
79	F. 救急	(2) 成人への心肺蘇生法 4) 呼吸と脈拍を確認する	☐ 患者さんの、①呼吸の観察、②脈拍の有無の確認を行い、10秒以内に心停止かどうかを判断する。	☐ 患者さんの呼吸の観察と脈拍の有無の確認を同時に行い、10秒以内に心停止かどうかを判断する。	・あいまいさを修正した。
80	F. 救急	(2) 成人への心肺蘇生法 8) AED（自動体外式除細動器）を使用する	☐ 電極パッドを患者さんの右上前胸部（鎖骨下）と左下側胸部（左乳頭外側下方）の皮膚に直接貼る。	☐ 電極パッドを患者さんの右上前胸部（鎖骨下）と左下側胸部（左乳頭外側下方）の皮膚に直接貼る。未就学児用モードまたは未就学児用電極パッドを用いてはならない。	・禁止項目を明示した。
81	F. 救急	(5) 意識障害への初期対応 4) 呼吸と脈拍を確認する	☐ 患者さんの、①呼吸の観察、②脈拍の有無の確認を行い、10秒以内に心停止かどうかを判断する。	☐ 患者さんの呼吸の観察と脈拍の有無の確認を同時に行い、10秒以内に心停止かどうかを判断する。	・あいまいさを修正した。